

トークセッション

<ヒロシマ・2017 連続講座>

年間予定 (2017/6/12 現在)

日にち (13:00~16:00)		テーマ (仮題)	お話しをお願いしている方	
第 18 回	2017 年 1/21 (土)	絵で伝えるヒロシマ	西村 繁男さん	『絵で読む広島原爆』(福音館)は広島原爆を考える基本的文献。【絵本作家】
第 19 回	2/4 (土)	思想としてのヒロシマ	浅井 基文さん	6年間の広島生活で考えたこと 【元・広島平和研究所所長】
第 20 回	2/18 (土)	被爆証言に向き合う ④	村山季美枝さん 山田 玲子さん	[お二人とも、広島で被爆。当時、村山さんは5歳、山田さんは11歳]
第 21 回	2/25 (土)	二度の「棄民」 …満州そして福島・浪江	山本 宗補さん	満蒙開拓に関わった方々などの写真集『戦後はまだ…』【フォトジャーナリスト】
* 第 21 回+ 4/22 (土) ~23 (日) 南信州ツアー= 満蒙開拓平和記念館 (長野県阿智村) と泰阜村				
第 22 回	3/4 (土)	東京大空襲	二瓶 治代さん 榎本喜久治さん	3月10日=約10万人の死者の東京大空襲【空襲体験者と支援運動事務局長】
第 23 回	3/18 (土)	登戸研究所資料館が目指すもの	渡辺 賢二さん	戦争をどう伝えるか① 明治大学平和教育登戸研究所資料館
* 第 23 回+ 5/6 (土) フィールドワーク=登戸研究所と川崎平和館				
第 24 回	4/15 (土)	日本・ドイツの空襲記憶	柳原 伸洋さん	日独の空襲記憶の比較と今後について 【ドイツ現代史・日独空襲研究】
第 25 回	5/13 (土)	習熟するべき日本国憲法	西川 重則さん	戦争は国会から始まるとして国会傍聴18年【平和遺族会全国連絡会代表】
第 26 回	5/20 (土)	芸術平和学のいま	田中 勝さん	芸術表現を通してどう被爆の問題を訴えるか?【京都造形芸術大学准教授】
第 27 回	6/3 (土)	慶応大学の「継承」 戦争をどう伝えるか②	都倉 武之さん	戦争体験をどう継承して行くのか? 【慶応義塾福澤研究センター准教授】
第 28 回	6/17 (土)	「遺骨」から見える日本 戦争をどう伝えるか③	栗原 俊雄さん	戦争に関わる取材を通して見える国家とは? 【毎日新聞学芸部記者】
第 29 回	7/1 (土)	日本の核開発の歴史	山崎 正勝さん	核開発に日本はどう関わったのか? 【東京工業大学名誉教授】
第 30 回	7/15 (土)	核なき世界を創るために	秋葉 忠利さん	核のない世界を創るために 別会場・別時程 【元広島市長】
第 31 回	7/29 (土)	戦争を語り継ぐ 被爆証言に向き合う ⑤	神戸美和子さん 能勢 広さん	神戸さんは広島市の被爆者 能勢さんは映画でヒロシマを伝える
8月、広島でのフィールドワーク				
第 32 回	9/2 (土)	原爆から蘇った ヒロシマの木	杉原梨江子さん	被爆樹の向こうに見えるヒロシマ 【文筆家】
第 33 回	9/16 (土)	核実験反対署名運動	丸浜江里子さん	ビキニでの核実験を日本人はどう受けとめたのか? 【都留文科大学講師】
第 34 回	10/14 (土)	四國五郎における 被爆体験の継承	小沢 節子さん	1970~80年代の四國五郎の仕事 【日本近現代史研究者】
第 35 回	10/28 (土)	戦争と人をめぐる旅 北の戦場からの帰還	室田 元美さん 三上 秀光さん	戦争の実相を訪ね歩いて記録した室田さん。そして北の島の戦場からシベリアを経て帰還した三上さん
第 36 回	11/4 (土)	五口市憲法の現代性	新井 勝紘さん	民衆憲法の先駆性とその意味 【高麗博物館館長】
第 37 回	11/25 (土)	フクシマへつながる 足尾銅山・谷中村	赤上 剛さん	公害の原点と放射能汚染の問題 【渡良瀬川研究会副代表】
第 38 回	12/2 (土)	昭和天皇と戦争	山田 朗さん	天皇と戦争と民衆と【明治大学教授】
第 39 回	12/9 (土)	拉孟全滅戦 戦争をどう伝えるか④	遠藤 美幸さん	ミャンマーでの日本軍玉砕の実態 【神田外語大学講師】
第 40 回	2018 年 1 月			
(日にち・講座の内容等の変更があるかもしれないことをご了解ください)				

<再録> 戦後日本の「平和主義」は常識の広がりをもったが、「原理」にはならなかった。
だから「時代の流れ」に弱い。…「ベ平連＝ベトナムに平和を！市民連合」を組織した小田実氏の「感慨」

「戦争と平和」の問題にさまざまな形で取り組んでいる方々においでいただき、その方たちの語り継ぐお話にきちんと向かい合うことで、東京から遠く離れた広島に思いを馳せ、「ヒロシマ」を受け取る時間にしてゆきたい。それは、「71年目の戦後」という年にあつて、何を記憶として残すべきなのか？ 忘れてはならないこととは何か？ 何を明日に手渡していけばいいのか？ を考えることになるはず。
この取り組みを続けていくことで、いま早足で戦争準備を進めるこの国の新しい年 2016 年を、あらたな「戦前」とさせないためのささやかな糸口になり、そして同時に特に、若い人たちに何か伝わっていく時間になるといい、とも思う。
…… [講座を始める際の「呼びかけ」(＝2016/1/3) から一部抜粋]

トークセッション <ヒロシマ・2016 連続講座> (終了分)				
日にち (13:00～16:00)	テーマ	お話ししていただいた方		
第 1 回	1/23 (土)	広島・原爆供養塔	堀川 恵子さん	ジャーナリスト
第 2 回	2/20 (土)	広島「黒い雨」	増田 善信さん	気象学者
第 3 回	3/26 (土)	原爆で死んだ少年少女たち	関 千枝子さん	ジャーナリスト
*第 3 回+ 4/2(土) フィールドワーク＝靖国神社 案内人＝辻子実さん				
第 4 回	4/16 (土)	脱走アメリカ兵	高橋 武智さん	わだつみのこえ記念館理事
*第 4 回+ 12/5 (月) フィールドワーク＝わだつみのこえ記念館と東大周辺の戦没者慰霊碑めぐり				
第 5 回	5/7 (土)	人間機雷「伏龍」	瀬口 晴義さん	東京新聞記者
*第 5 回+ 5/22 (日) フィールドワーク＝鎌倉・稲村ヶ崎 案内人＝中田均さん				
第 6 回	5/21 (土)	被爆証言に向き合う ①	茶本裕里さん 宇都純子さん 井上こみちさん	被爆者・朗読・絵本作家
第 7 回	6/18 (土)	韓国の被爆者たち	鈴木 賢士さん 河井 章子さん	フォトジャーナリスト 韓国被爆者を救済する市民の会会員
第 8 回	7/9 (土)	父「四國五郎」を語る	四國 光さん	画家四國五郎さんの息子さん
*第 8 回+ 7/10 (日) フィールドワーク＝丸木美術館と吉見の百穴(地下軍需工場跡)				
第 9 回	7/16 (土)	広島の 8・6 を取材して半世紀 被爆証言に向き合う ②	岩垂 弘さん 箕牧 智之さん	ジャーナリスト 広島の被爆者
第 10 回	8/27 (土)	言葉で支える平和 『日本の原爆文学』出版をめぐる秘話	石川 逸子さん 近藤 互志さん	詩人 叢書編集実務担当者*
第 11 回	9/17 (土)	ビキニの海から	豊崎 博光さん	フォトジャーナリスト
*第 11 回+ 9/22(木) フィールドワーク＝第五福竜丸展示館				
第 12 回	10/1 (土)	被爆証言に向き合う ③	渡辺 晴さん 田栗 静行さん	長崎の被爆者
第 13 回	10/15 (土)	「原爆の囀」の旅	岡村 幸宣さん	原爆の囀 丸木美術館学芸員
第 14 回	10/29 (土)	韓国人 BC 級戦犯の訴え	李 鶴来さん	泰緬鉄道に関わった「戦犯」
第 15 回	11/19 (土)	私の中のヒロシマ	斉藤とも子さん	女優
第 16 回	12/3 (土)	丸山眞男と原爆	川口 重雄さん	「丸山眞男手帖の会」代表
第 17 回	12/17 (土)	ヒロシマから見える日本	アーサー・ビナードさん	詩人

★場所；愛恵ビル 3F (公益財団法人 愛恵福祉支援財団) 東京都北区中里 2-6-1

→JR山手線駒込駅(東口)から徒歩 2 分
・または地下鉄南北線駒込駅から徒歩 7 分

★資料代；1,000 円 (当日会場で集めます)
(会場と資料準備の関係で、事前に申込をお願いします)

★申込先；竹内 良男

電話＝090-2166-8611

アドレス＝qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp

